

阿佐ヶ谷ワークショップ

万葉集を読む会

～隠された歴史の鏡 初期万葉集を読む～

開催日：毎月第2火曜日、午後2時～4時半

会 場：阿佐ヶ谷ワークショップ

参加費：1000円

案内役（講師）：高木 登 mail: n.takaki@jcom.home.ne.jp

TEL: 090-5318-5174

12月14日（火） 14:00～16:30

第5回、64番から80番までを読む

（参加申込者には事前にテキスト資料をmailで送信します）

この「万葉集を読む会」では、巻1、巻2を中心に初期万葉集を読むことから、隠された歴史を読み取りながら鑑賞するという形で進めていきます。

万葉集の最も古い歌は、巻2冒頭の歌、5世紀初め仁徳天皇の御世、磐姫の歌（相聞歌の典型）で、次に古い歌は、巻1冒頭の歌、5世紀末の雄略天皇の歌（雑歌の典型）ですが、実質的には6世紀前半の舒明天皇から8世紀半ばの淳仁天皇までの約130年間にわたる歌を収めています。

事績を集成して歴史を振り返る『古事記』や『日本書紀』に対して『万葉集』の巻1と巻2は、歌を制作年代順に並べることで宮廷の歴史を振り返る歌集となっており、隠された歴史の鏡ともなっています。

万葉集は人前で詠われた「やまと歌」であることから、この会では参加者一人一人が声を出して読むことで鑑賞していきます。そして固定概念にしばられず、自由に鑑賞し、自分の言葉で感想を語り合う場にしたいと考えています。

講師・高木登のプロフィール

1969年、北九州大学外国語学部米英学科卒。高校在学中、北九州の同人詩誌“沙漠”で詩を書き、大学在学中は詩誌“GRIFFIN”を発行し、詩集を自費出版する。シェイクスピアのソネット集の翻訳、シェイクスピア劇の観劇日記、ジョン・ダンの全詩集の翻訳などをHP（「あーでんの森散歩道」）に掲載。万葉集は学生時代から、シェイクスピアの作品とともにライフワークとして読み続けている。